

## 第4章 重点プロジェクト

望ましい環境像「自然と共生し ゼロカーボンを進めるまち かがしま」を実現するためには、市域全体において、分野横断的で多様な主体の協働・連携による取組が必要です。

そこで施策の中でも特に連携が重要と考えられ、相乗効果が期待される分野について、市民・事業者・市民活動団体・行政が一体となって協働・連携して取り組むことを目指す「重点プロジェクト」を設定し、推進・PRします。

### 重点プロジェクト1 省エネ・再エネ推進プロジェクト

「ゼロカーボンシティかがしま」の実現に向けて、エネルギーの利活用のあり方を見直します。

### 重点プロジェクト2 水と緑の広域ネットワークプロジェクト

農山村域と都市部がそれぞれの特性を生かしながら、豊かな自然を次世代へ引き継ぎます。

### 重点プロジェクト3 “かがしま環境市民”づくりプロジェクト

多様な主体と連携し、地域循環共生圏の構築を担う「かがしま環境市民」を育成します。



### 第三次鹿児島市環境基本計画 重点プロジェクト

プロジェクト名	1 省エネ・再エネ推進プロジェクト
主管課	環境政策課・再生可能エネルギー推進課
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭やオフィスに高効率空調機器やエネルギーマネジメントシステム等を導入するとともに、脱炭素型のライフスタイルへの変革やまちづくりと連携した脱炭素化を図ることで、徹底した省エネルギーを進めます。</li> <li>・電気自動車やヒートポンプ等を導入して「電化」を進めます。</li> <li>・太陽光発電設備を積極的に導入するなど、市内の利用可能な再生可能エネルギーを最大限活用するとともに、市域の内外からのゼロカーボン電力や水素エネルギーの導入を推進します。</li> </ul>
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>(これまでの経過)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネの取組として、平成28年度からHEMSを補助対象とし、その普及促進を進めている。令和4年度は、省エネルギー家電製品の購入補助金を交付した。</li> <li>・運輸部門への対策として、平成21年度から電気自動車の導入への補助制度を開始した。</li> <li>・また、公用車においても電気自動車の買替等を促進している。</li> <li>・太陽光発電の普及促進を図るため、平成16年度から太陽光発電設備設置への補助事業を開始した。また、市有施設へも積極的に導入を進めている。</li> <li>・令和2年度から、再エネ由来などの電力を購入する契約を結ぶなど、ハード面以外での再エネ普及の取組を行っているほか、水素エネルギーの普及促進のため、令和元年度に水素で走る燃料電池自動車を導入した。</li> <li>・令和4年度には、CO<sub>2</sub>排出量を減らせる取組をまとめた「ゼロカーボンチャレンジシート」を作成し、抽選でエコグッズがあたるキャンペーンを実施した。</li> </ul> <p>(令和4年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光deゼロカーボン促進事業補助金 HEMSの補助件数 294件</li> <li>・省エネルギー家電製品購入補助金 430件</li> <li>・次世代自動車等普及促進事業補助金 電気自動車の補助台数 83台</li> <li>・公用車への電気自動車の導入(累計) 27台</li> <li>・太陽光deゼロカーボン促進事業補助金 太陽光発電設備の補助件数 302件</li> <li>・市有施設への太陽光発電設備設置件数(累計)87施設 (うち、4年度新規)2施設</li> </ul> <p>・ゼロカーボン電力については、引き続き、市役所本庁舎において再エネ由来電力の購入契約を行った。令和4年度におけるCO<sub>2</sub>排出削減量 1022.6t</p> <p>・水素エネルギーについては、導入した燃料電池自動車「Mirai」等を用いた周知・PRを行った。</p> <p>・「ゼロカーボンチャレンジシート」を活用したキャンペーン参加世帯 356世帯</p> <p>・官民連携プラットフォームを活用し、脱炭素に向けた民間事業者からの提案の受付を開始した。</p>
	<p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気自動車の台数は増えているが、市中の充電スタンド数が限られている。</li> <li>・市有施設への太陽光発電設備設置については、国が2040年までに設置可能なすべての公共施設への設置を目指すとしていることから、大量設置が求められるところ、その高額な費用が問題となる。</li> <li>・ゼロカーボン電力や水素エネルギーなど脱炭素に関連する事項や「ゼロカーボンシティかごしま」の認知度が低く、理解促進を図る必要がある。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気自動車については充電スタンド等の設置支援を検討する。</li> <li>・市有施設への太陽光発電設備設置については、PPA等の民間ノウハウを用いた手法を採用することで、設置初期費用や維持管理費等の効率化・平準化を図る。</li> <li>・ゼロカーボン電力及び水素エネルギー、「ゼロカーボンシティかごしま」等の認知度向上を図るため、さらなる周知広報に努める。</li> <li>・官民連携プラットフォームや環境省イベントへの参加を通じて、民間事業者と連携した取組を検討する。</li> </ul>

プロジェクト名	2 水と緑の広域ネットワークプロジェクト
主管課	環境保全課
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森・里・川・海のつながりを意識しつつ、河川と流域の水路・水田などの水域の連続性の確保、生きものの生息・生育地の保全を推進することで、水と緑のネットワークを形成します。</li> <li>・行政による森林整備や都市緑化の推進とともに、イベント等を通じた市民や事業者等と協働した緑の保全や創出に取り組みます。</li> <li>・農山村域と都市部の交流を図るため、グリーン・ツーリズムを推進します。</li> <li>・環境保全型農業の推進や、生産された農産物の付加価値の向上を図るとともに、地産地消を進めます。</li> </ul>
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>(これまでの経過) 令和4年3月に第二次鹿児島市生物多様性地域戦略を策定し、生物多様性の普及啓発や希少種、外来種の周知広報など、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を推進している。</p> <p>(令和4年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かごしま生きものラボ」ウェブサイトの保守管理、周知広報</li> <li>・生物多様性ワークショップの開催（7月23日 かごしま環境未来館）</li> <li>・ウミガメ講座の開催（7月30日 かごしま環境未来館）</li> <li>・「かごしま自然百選」ガイドブック、自然遊歩道イラストマップの配布</li> <li>・国際生物多様性の日（5月22日）を契機としたパネル展の開催</li> <li>・サンエールフェスタにおけるパネル展示</li> <li>・外来種（オオキンケイギク、メリケンソウ）に関する広報（市HP等）</li> <li>・外来種（ハイイロゴケグモ）の通報への対応</li> <li>・希少野生動植物に関する周知広報（市HP）</li> </ul> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性への認知度や理解度の向上</li> <li>・市民や事業者、市民活動団体等、多様な主体と連携・協働した取組の推進</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及啓発パネルやかごしま生きものラボウェブサイトを活用した普及啓発</li> <li>・市民や事業者、市民活動団体等、多様な主体と連携・協働した取組の実施</li> </ul>

プロジェクト名	3 “かごしま環境市民”づくりプロジェクト
主管課	環境政策課
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かごしま環境未来館」を中心に、多様な主体との連携を図りながら持続可能な地域づくりを担う人材である「かごしま環境市民」を育成し、関係者間の連携強化、他地域との交流等を進めます。</li> <li>・SNS等による情報発信に取り組むとともに、ナッジやICTなどの新しい考え方や技術の活用を検討し、市民一人ひとりが楽しみながら自発的に実践できるような、脱炭素に向かう行動を促進します。</li> </ul>
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>(これまでの経過) かごしま環境未来館では、市民の環境への関心を喚起する取組や、地域における環境保全の促進やネットワークの構築につながるイベントの開催、未来館登録団体への支援や環境保全活動に取り組む団体へ助成など、「かごしま環境市民」の育成につながる取組を行っている。また、かごしま環境未来館サポーター養成講座を開催し、市民が協力・連携して環境保全活動を行うことができる仕組みづくりにつながる取組も行っている。</p> <p>(令和4年度実績) ○地域における環境保全活動の促進・各団体間のネットワークの構築 ・環境フェスタかごしま ・地域まるごと環境フェスタinアミュプラザ鹿児島 ○市民の環境への関心を喚起するイベント ・甲突川リバーフェスティバル ・環境月間企画展 ・ゼロカーボンシティかごしま企画展 ・未来館SDGsフェスタ ○多様な環境情報の発信 ・ホームページ・SNS等を活用した市民や事業者、学校への環境情報の発信 ○かごしま環境未来館登録団体への支援 ○地域ネットワークの構築 ・かごしま環境未来館サポーター養成講座 ○民間事業者からの意見募集 官民連携プラットフォームを活用し、脱炭素に向けた民間事業者からの提案の受付を開始した。</p>
	<p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントやホームページ・SNS等を活用した更なる意識啓発</li> <li>・市民、事業者、市民活動団体が協力・連携して環境保全活動を行うことができる仕組みづくり</li> <li>・地域ネットワークの輪を活用した環境保全活動の拡大</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島市の環境学習・環境保全活動の拠点施設として、「かごしま環境市民」の育成に向けた仕組みづくりを検討する。また、情報発信による意識啓発やサポーター養成講座の開催等ソフト面での支援を引き続き行っていく。</li> <li>・令和5年度は、民間事業者のノウハウを活かしたSNS等の情報発信に取り組む。</li> </ul>